

**HOT NEWS OF JAPANESE NUTRITION/HEALTH INDUSTRY**

**Dec.1-31, 2008**

2008年は大型買収で幕を下ろしそうである。クリスマスイブの12月24日、アサヒビール、大塚製薬による海外企業の買収が発表された。

2007年から食品業界のM&Aや再編が活発である。以下、主な再編M&Aである。

2007年2月 アサヒビール、カゴメと資本・業務提携

同6月 味の素、カルピスを完全子会社化

同9月 不二製油とJ-オイルミルズが資本・業務提携

同11月 キリンホールディングス、豪乳製品・飲料大手のナショナルフーズを買収

2008年1月 明治製菓、ポッカコーポレーションと資本、業務提携

同5月 味の素、伊藤ハムと業務提携

同5月 大塚製薬、仏ミネラルウォーター大手ALMA社の株式49%を1,200億円で取得

同8月 キリンホールディングス、豪乳業大手のデアリーファーマーズを買収

同10月 協和発酵キリンとキリンホールディングスなどが来春の協和発酵フーズとキリンフードテックの合併に向けた統合契約書を締結

同10月 サントリー、NZ飲料業界2位「フルコア」買収で合意

同11月 キリンHDとヤクルト、「キリンヤクルトネクストステージ」の事業縮小と運営見直しに合意

同11月 キリンHD、豪CCA社の全株式取得に向け交渉中と発表

そして今回の発表である。

国内の食品産業市場が、1998年の93兆円をピークに縮小に転じ、2005年度に85兆円に落ち込み、企業再編で体力を強化し、海外市場を開拓する必要性がでてきた為である。海外企業の買収は、ビール系会社によるオセアニア企業の買収、大塚製薬によるヨーロッパ(フランス)企業の買収が特徴的である。

サブプライム問題を契機とした世界同時不況の中、多くの企業が業績の下方修正を発表するなど暗いニュースが流れているが、M&Aに限って言えば「好機」とも言える。好況期には獲得できなかった企業や事業をより低価格で買う事が出来るからである。国内市場の成長が鈍化した市場においては海外市場に活路を見出す必要が出てくるが、M&Aはその一つの選択肢である。

円高基調が続く中、2009年も驚きのニュースが流れてくるであろう。

## NEW PRODUCTS

### フレンテ・インターナショナル乳酸菌 LS1 配合タブレット「クリッシュ」をリニューアル発売

株式会社フレンテの事業会社である株式会社フレンテ・インターナショナルは、乳酸菌LS1(エルエスワン)を配合した“お口の中にも乳酸菌”という新発想で開発されたタブレット「クリッシュ」のリニューアル発売をした。同製品は、現在、通信販売を中心に展開しており、リニューアル



製品は2008年12月中旬より順次切り替えされる予定。今回のリニューアルは、消費者の要望に注目し、(1)よりおいしく食べやすく、(2)耐熱性・防湿性の強化、(3)乳酸菌LS1を増量、というポイントに沿って実施された。「クリッシュ アルミパック」は1袋90粒入りあたり1,600円で販売されている。箱入りタイプは、アルミパックタイプと比較して乳酸菌LS1を高配合しているほか、キシリトール、ヒドロキシアパタイトも配合した高性能タイプの「スーパークリッシュ」は1本90粒入り6,500円にて販売されている。両製品ともクリーンミント、ヨーグルト、ブルーベリーの3種類のフレーバーで展開。

(2008年12月2日 株式会社フレンテインターナショナル プレスリリース)

### ハーバー研究所、ナチュラルローソンでヘルシー食品「ロハスクラブクッキー」3品を限定発売

株式会社ハーバー研究所は、1月6日より、ロハスな人、モノ、活動の支援を行っている一般社団法人「ロハスクラブ」と協力し、「ロハスクラブクッキー」(税込284円)を健康志向のコンビ



ニエンスストアチェーン、ナチュラルローソン全82店舗で限定発売すると発表した。同製品は、バター、マーガリン、ショートニング、砂糖は一切使用しておらず、1食あたり98kcalという低カロリーを実現したハーバーの人気製品「カリカリクッキー」をベースに開発された。原料には、注目健康素材であるユーグレナや美容成分ハトムギを使用している。さらに、不健康な成分であるトランス脂肪酸を含む油脂は一切使用せず、有機パーム油を使用、香料、着色料も無添加である。さらに吸水性が高く水分と摂取することで、お腹の中で8倍に膨らむ脱脂大豆繊維を配合しているため、満腹効果を得られる。味はハトムギ、カボチャ、ミックスベリーの3種類で展開する。

(2008年12月4日 株式会社ハーバー研究所 プレスリリース)

### 伊藤園、白桃とヨーグルトの美味しさからなる飲料「SOFT FRUIT 桃と乳酸菌」を新発売

株式会社伊藤園は、「SOFT FRUIT 桃と乳酸菌」を、12月15日に新発売した。「SOFT FRUIT 桃と乳酸菌」は、国産白桃とヨーグルトをブレンドした殺菌乳酸菌飲料を1%使用しており、白桃とヨーグルトをブレンドし、同時に酵母で発酵させた殺菌乳酸菌飲料を使用することでコクを生み出している。また、国産白桃のピューレを7%、はっ酵乳を3%使用しているため、ヨーグルトととけあった白桃のコクがあるおいしさを味わえる飲料となっている。伊藤園は、同製品の発売を皮切りに、今後も「SOFT FRUIT」ブランドで新製



品の展開を実施する予定である。

(2008年12月11日 株式会社伊藤園 プレスリリース)

### ポッカ、「糖類ゼロ」と「脂質ゼロ」の缶コーヒー「ポッカコーヒーダブルゼロ」を発売

株式会社ポッカコーポレーションは、糖類と脂質がゼロの缶コーヒー「ポッカコーヒーダブルゼロ」(185g缶/税別115円)を、1月5日から全国発売する。同製は、「ポッカコーヒー」シリーズのラインナップ商品として発売されるが、今年の4月から開始された「特定健康診査・特定保健指導」の影響で、今後の食生活指導の強化や缶コーヒーユーザーの健康意識の高まりに対応するために開発された。コーヒーの味は保ちながらも「糖類」と「脂質」をゼロとしており、カロリーは100gあたり10kcalに抑えた健康志向の缶コーヒーとなっている。

(2008年12月15日 株式会社ポッカコーポレーション プレスリリース)



185ポッカコーヒーダブルゼロ

### サントリー、受験生を応援する栄養炭酸飲料「合格エナジー」を全国で新発売

サントリー株式会社は、栄養成分を添加した炭酸飲料「合格エナジー」(490mlボトル缶/税別140円)を1月6日から全国で発売する。同製品は、本格的に到来する受験シーズンに向け、“頑張る受験生を応援する栄養炭酸”をコンセプトに開発された飲料であり、手軽に栄養分を補給できるよう、ぶどう糖をはじめ、6種類のビタミン類のほか、カフェインをバランス良く配合している。

(2008年12月16日 サントリー株式会社 HP)



### アイヘルスサプリメント2種「オキシバリアi」、「オキシバリアi EX」、配置薬及び眼科医院関連ルートで新販売

富士フィルム株式会社と東亜薬品株式会社、日東メディック株式会社の3社は、アイヘルス訴求サプリメント「オキシバリアi(アイ)」、「オキシバリアi(アイ)EX」の2種類を、長時間のパソコン作業やデスクワークが多い人をターゲットに共同開発した。同製品には有効成分として「ルテイン」や「アスタキサンチン」をはじめ、ビタミンC、ビタミンE、ビタミンB2、亜鉛、銅などを含有する。「オキシバリアi」(税別2,800円/30粒)には、ルテイン8mg、アスタキサンチン0.5mgに加え、ビタミンとミネラルがバランスよく配合されており、「オキシバリアi EX」(税別4,800円/60粒)にはルテイン15mg、アスタキサンチン1.0mg、ビタミン及びミネラルを高含有しており、よい強力な処方となっている。「オキシバリアi」は眼科医院や関連薬局への販売ルートに強い医薬品点眼薬メーカー、日東メディックより販売され、「オキシバリアi EX」は、配置薬の販売ルートに強い医薬品製造メーカーの東亜薬品より、両製品とも12月18日に発売された。



(2008年12月16日 富士フィルム株式会社 プレスリリース)

## コカ・コーラから栄養素を添加した女性のための炭酸飲料「コカ・コーラ プラス」が新発売

コカ・コーラシステムは、女性の“美容”と“健康”へのニーズを満たすため、コカ・コーラに栄養素を加えた新ブランド「コカ・コーラ プラス」(500mlPET/税込 147円)を新設した。同社は、これまでも「必要な栄養成分を、カロリーを気にせず美味しく手軽に摂りたい」という要望に対応し、「ノーカロリー コカ・コーラ プラス ビタミン」を2008年6月に発売したが、今回は消費者からの支持の高かった「栄養素をプラスする」という概念にフォーカスし、「健康的でスタイリッシュに毎日を過ごすための、ちょっとした“Plus”をくれるブランド」というコンセプトのもと、新たなブランドを立ち上げた。第一弾として、「ビタミンC」を配合し、保存料不使用で、爽やかなレモンフレーバーの新製品を1月5日から全国で発売する。ブランドのイメージキャラクターとして、「SEX AND THE CITY」で人気のハリウッド女優サラ・ジェシカ・パーカーを起用し、SNS「mixi」を活用した年間キャンペーンで、スタイリッシュなブランドであることを強調する意向である。



「コカ・コーラ プラス」 500ml PET プリッップボトル  
メーカー希望小売価格(税込)147円

(2008年12月17日 日本コカ・コーラ株式会社 HP)

## ノエビア、乳酸菌配合の栄養補助食品「インナーバイオ - フォーミュラII」を上市

株式会社ノエビアは、乳酸菌やビフィズス菌、ラクトフェリン、ケフィアを配合した栄養補助食品「ノエビアインナーバイオ - フォーミュラII」(60g(2g×30包)税込 6,300円)を、12月25日に発売した。同製品は、1包(2g)あたりに、乳酸菌 FK-23 菌末を1千億個、ビフィズス菌を1億個、ラクトフェリン 50mg ケフィア粉末を配合している栄養補助食品である。毎日手軽に摂取でき、健康維持に欠かせない同製品は、ノエビアのウェブサイトでの通信販売や訪問販売を通して販売される。



(2008年12月18日 株式会社ノエビア プレスリリース)

## カゴメから「野菜生活 100 野菜とヨーグルト いちご 200ml」新発売

カゴメ株式会社は、デザート感覚で楽しめる、おいしい野菜ジュース「野菜生活 100 野菜とヨーグルト いちご」(200ml/税込 114円)を、1月6日から全国発売すると発表した。同製品は、野菜汁 50% + 果汁 45% + ヨーグルト 5% で構成されており、21種類の野菜と5種類の果物(ぶどう、りんご、レモン、いちご、クランベリー)を含む飲みやすい野菜ジュースとなっている。砂糖や食塩は使用しておらず、1本あたりのカロリーは90kcalである。人気のいちごフレーバーで、デザート感覚でおいしく野菜ジュースを摂取したいと考える20代の男女をターゲットとし、新規ユーザーの獲得と飲用場面の拡大を図る意向である。



(2008年12月18日 カゴメ株式会社 プレスリリース)

### アサヒ飲料からべにふうき茶葉使用の緑茶新発売

アサヒ飲料株式会社は、独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所との共同研究による「メチル化カテキン」を高含有する茶品種「べにふうき」の茶葉を使用した「アサヒ べにふうき緑茶 PET350ml」(350ml/税別 160円)を2009年1月13日より、全国で発売すると発表した。「メチル化カテキン」とは緑茶に含まれている有効成分「カテキン」の一種であり、一般的な「カテキン」と比較して成分の体内吸収率が約5~6倍も高い。同製品は2005年以降毎年同時期に発売されており、今年は「メチル化カテキン」の量が昨年までの従来品と比べて約20%多く含有されている。同社は、インターネットによる通信販売も実施しており、同製品の2008年度の販売高は2005年と比較して12倍を記録し、順調な売上を維持している。



(2008年12月18日 アサヒ飲料株式会社 プレスリリース)

### タカナシ乳業、プロバイオティクス乳酸菌入り「タカナシ 春！爽快ヨーグルト 110g」を発売

タカナシ乳業株式会社は、2種類のプロバイオティクス乳酸菌入りの新製品「タカナシ 春！爽快ヨーグルト 110g」(110g/税込 105円)を1月12日から全国で期間限定発売すると発表した。同製品には、世界的に認知されているプロバイオティクス乳酸菌「LGG菌」と、同社オリジナルのプロバイオティクス乳酸菌「TMC0356菌」の2種類の乳酸菌が含まれているのが特徴である。シトラス風味で、さっぱりとした味わいを持ち、爽やかに春を過ごしたい消費者をターゲットとしている。



(2008年12月19日 タカナシ乳業株式会社 HP)

### 大正製薬、特定保健用食品「グルコケア 緑茶」を新発売

大正製薬株式会社は、健康ケアブランド「Livita(リビタ)」から、特定保健用食品「グルコケア 緑茶」を12月22日に発売した。グルコケアは、2003年に発売を開始した特定保健用食品であるが、今回の「グルコケア 緑茶」の発売は、国産の香り豊かな茶葉を使用し、より多くの消費者に無理なく継続してもらえるようにとの企業側の狙いがある。同製品は、「食事で摂った糖の吸収をおだやかにする」と訴求しており、有効成分として難消化デキストリンを含有している。600ml入りペットボトルと190ml入り缶で、それぞれ252円と126円にて販売される。



(2008年12月22日 大正製薬株式会社 プレスリリース)

### 香栄興業、ザクロ花エキスを化粧品・健康食品用原料として展開

香栄興業は、同社の取り扱う「ザクロ花エキス」を化粧品や健康食品用原料に積極的に展開する意向である。同社は、ザクロ花エキスのエストロゲン様作用などのデータを収集しており、スキンケア化粧品への

配合や健康食品用の原料としての採用で拡販を狙う。ザクロにはエストロゲン様作用があり、エストロゲンを補うことで、肌のトラブル、シワ、たるみなどが予防できると言われている。同社は、ザクロ花エキスのエストロゲン様作用以外にも、SOD 様活性、DPPH ラジカル消去活性、ヒアルロニダーゼ阻害作用、チロシナーゼ作用、5 $\alpha$ -レダクターゼ阻害作用、たん白質凝集作用、リパーゼ作用などを確認している。

(2008 年 12 月 22 日 化学工業日報)

## COMPANY NEWS

### エスビー食品の「ハーフ」シリーズが発売 3 ヶ月で 7 億円を突破

2008 年 8 月にエスビー食品から発売された、カロリー半分の「ハーフ」シリーズが好調な売上を上げている。発売から約 3 ヶ月後には、年間販売目標(小売ベース)であった 15 億円のうちの約 50%である 7 億円をすでに売上げている。即席カレー市場において、「カロリー控えめ」という新領域であるハウス食品の「プライムカレー」に追随し、「ハーフ」シリーズも同市場で好調である。「ハーフ」シリーズはカロリー 50%オフ、脂質 80%オフを実現しており、「2 皿×4 袋」のスティックタイプというコンセプトで少人数世帯に対応した利便性の高い製品となっている。さらにパウダー状のスティックタイプの採用により、幅広いメニューへの利用が可能であり、フィルムラッピングの包装形態やリクローズできる中箱なども画期的なパッケージングである。同シリーズの人気を定着させ、主力製品として育成するためにエスビー食品は毎月「ハーフの日」を設定するなど、様々なプロモーションを展開している。12 月には全国 4 ヶ所の ABC キッキング(東京、名古屋、大阪、福岡)で「ハーフ」シリーズと雑穀「穀物充実ごはんの素」を使用した試食会も実施する。「健康」をキーワードに、シリーズの市場浸透と人気の定着化を積極的に推進する意向である。

(2008 年 12 月 15 日 日本食糧新聞)

### マレーシアで「ヤクルトAceライト」を新発売

株式会社ヤクルト本社は、2009 年 1 月 2 日から、マレーシアで「ヤクルトAceライト」(0.9 リンギット = 約 23 円/80ml)を新発売することを発表した。同社は、マレーシアヤクルトを通じて、2004 年 2 月から、「ヤクルトAce」の製造販売を開始しており、発売当初は店頭中心、2006 年 11 月からはヤクルトレディによる宅配を展開してきた。同国では「ヤクルトAce」のブランド認知は高く、販売実績も年々伸張しているという。もともと「ヤクルトAceライト」は、シンガポールヤクルト向けに製造・輸出販売していた甘さを控えた低カロリー製品であったが、近年、同国政府によって積極的に展開されている「カロリー低減、砂糖過剰摂取の抑制」の推奨や国民の健康意識や食品への関心と期待も高まりに伴い、今回の「ヤクルトAceライト」をマレーシア市場で発売するに至った。「ヤクルトAceライト」は店頭及びヤクルトレディによって販売される予定である。

(2008 年 12 月 17 日 ヤクルト本社 プレスリリース)

### **アサヒ、英キャドバリーグループ所有のオーストラリア飲料事業を買収**

アサヒビールグループは、イギリスのキャドバリーグループが所有するオーストラリア飲料事業、シュウエップス・オーストラリアを買収する契約をキャドバリーグループと締結したと発表した。これによって、シュウエップス・オーストラリアは、2009 年上半期ごろにアサヒビールグループに買収され、100%連結子会社となる。同社は「食と健康」を事業の基盤として、アジア地域を中心に事業展開を図る意向であるとし、安全を提供できるバリューチェーンの構築を推進している。今回のシュウエップス・オーストラリアの買収によって、アジア地域のみならずオセアニア地域での事業基盤を獲得できるとし、契約を締結した。今後は海外飲料事業の基盤の強化を図り、グループシナジーを実現することで、アサヒビールグループをさらに急成長させていく方針であるという。シュウエップス・オーストラリアはオーストラリア市場において市場シェア第 2 位のポジションを有しており、炭酸飲料、スポーツ飲料、ミネラルウォーター等のセグメントにおいて高い市場シェアを持っている。同社は、自社ブランド製品とライセンス製品の製造販売を行っており、自社ブランド製品では Schweppes、Cottee's、Solo、Spring Valley 等を取り扱っており、ライセンス製品では Pepsi、Sunkist、Gatorade 等を主要ブランドとして展開している。今回の取引における買収価格総額は、約 1,185 百万オーストラリアドル(約 735 億円)から現預金および有利子負債等を調整した金額となる( 1 オーストラリアドル = 62 円)

(2008 年 12 月 24 日 アサヒビール株式会社 プレスリリース)

### **大塚製薬、機能性食品・栄養食品の欧州大手 Nutrition & Santé 社グループを買収**

大塚ホールディングス株式会社の事業会社である大塚製薬株式会社は、ヨーロッパにおける機能性・栄養食品大手企業の Nutrition & Santé SAS 社(以下 N&S 社)の持ち株会社である Nardobel SAS の全株式を取得する契約を、主要株主の Abénex Capital および L Capital と 12 月 22 日に締結した。N&S 社は南フランスに本社を置き、国内に 4 つの工場を持つ欧州大手の機能性・栄養食品会社である。主要ブランドとして、Gerblé(健康食品)、Gerlinéa(スーパー向けダイエット食品)、Milical(薬局向けダイエット食品)、Céréal Bio(有機食品)、SOY(ベジタリアン食品)、Isostar(スポーツ栄養ドリンク)などの 12 のブランドを、欧州及び世界 40 ヶ国以上で展開している。フランス国内では機能性・栄養食品市場の約 60%のシェアを持ち、優れた品質管理のもと、製品の生産を行っている。大塚製薬は、欧州の大手機能性・栄養食品企業である N&S 社がグループ傘下に入れることによって、ヨーロッパにニュートラシューティカルズ事業の拠点を構築し、事業のグローバル展開が可能となる。

(2008 年 12 月 24 日 大塚製薬株式会社 プレスリリース)

## SCIENCE NEWS

### **森永乳業、「ラクトフェリンによる大腸ポリープ進展抑制作用のメカニズム」の研究成果発表**

森永乳業株式会社は、「ラクトフェリンによる大腸ポリープ(腺腫)進展抑制作用のメカニズム」と題した研究成果を2008年10月28日から30日まで名古屋で開催された「第67回日本癌学会学術総会」にて発表した。同研究は、名古屋市立大学、国立がんセンターの研究グループを中心に進められていた研究であり、人などの哺乳類の乳汁や唾液などに含まれるたんぱく質で、抗菌活性や免疫調節作用などを有すると言われているラクトフェリンが、大腸内のポリープの進行を抑制する効果を持つと示唆したものである。大腸ポリープは大腸がんへ発展する可能性も高いことから、5mm以下の大腸ポリープの生長を抑制することができるとして注目を集めている。

(2008年12月4日 森永乳業株式会社 プレスリリース)

### **非アルコール性脂肪性肝疾患への、高濃度茶カテキン飲料の効果を検証**

花王株式会社ヒューマンヘルスケア研究センターは、肥満が関わる生活習慣病の一つである非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD:non-alcoholic fatty liver disease)について、高濃度茶カテキン飲料の効果を実証したと発表した。高濃度茶カテキン飲料を、NAFLD患者に高濃度茶カテキン飲料を12週間継続的に摂取させたところ、肝臓への脂肪蓄積低減効果と肝機能の改善が確認された。さらに、高濃度茶カテキン飲料の摂取によって、NAFLDの発症原因の一つとされている「酸化ストレス」の指標である尿中イソプラスタン値の低減が認められた。同センターの実施した研究によって、高濃度茶カテキン飲料の継続的摂取が、NAFLD患者の治療に役立てる可能性を見出した。本成果は、第30回日本臨床栄養学会総会にて発表された。

(2008年12月11日 花王株式会社 プレスリリース)

### **サントリー、DHA やセサミン、ビタミンEの血液の流動性と脂質代謝の改善効果を確認**

サントリー株式会社の健康科学研究所は、杏林大学との共同研究によって実証された、「DHA とEPAにセサミンとビタミンEを加え、約4週間摂取することで血液の流動性ならびに脂質代謝が改善するという効果」を2008年11月29日に茨城にて開催された第2回日本血流血管学会で発表した。同研究の演題は「DHA & EPAとセサミン & ビタミンEの血液レオロジー<sup>□1</sup>と脂質代謝の改善効果」であり、サントリーの製品であるDHA & EPAとセサミン & VEを併用して4週間継続して摂取することで、血液流動性と脂質代謝が、摂取前と比較して改善されるという効果を示唆した。

(2008年12月12日 サントリー株式会社 プレスリリース)